

平成 28 年度 第 10 回西区自治協議会会議録

日時：平成29年1月27日（金）午後3:00～3:50

会場：西区役所健康センター棟1階大会議室

< 1 開会 >

< 2 議事（1）部会の状況報告（通常部会・特別部会） >

（岩協会長）

それでは議事に入ります。（1）部会の状況報告でございます。説明は簡潔明瞭にお願いしたいと思っております。それでは第1部会からお願いいたします。

（笠原第1部会長）

第1部会の会議概要です。所管分野は防犯・防災・自然環境・住環境等でございます。第10回の第1部会の会議は1月18日水曜日、午後3時から4時15分まで。出席者をご覧のとおり。主な議事は、「1 防犯と防災に関する講演会について」。区民の安心安全につながる「防犯」と「防災」のそれぞれのテーマにおいて、各委員から持ち寄った講師案をもとに、講師候補および講演内容の検討を行いました。講師候補については、予算、日程、会場の空き状況を踏まえて、事務局にて調整を行い、次回部会において講師およびテーマをより具体化することとしました。委員から出されたその他の意見は下記のとおりです。

防犯については、警察による犯罪発生状況の説明と落語家による防犯を啓発する落語を組み合わせて実施することも考えられるのではないかと。

「2 その他」、総務課より平成28年1年間の西区の犯罪発生状況および交通事故発生状況の説明があり、犯罪については特殊詐欺が8区の中で最も多く発生していることを確認しました。区民生活課より、鳥インフルエンザ発生に係る対応状況について説明がありました。

「3 次回（第11回）の開催日程について」は、平成29年2月15日水曜日、午後3時から、場所は西区役所3階303会議室。議題は防犯と防災に関する講演会についてです。以上です。

（岩協会長）

ありがとうございました。今報告にありました犯罪、特殊詐欺、振り込めですね。8区のうちで西区が一番だと。被害額の相当の金額、ちょっと忘れましたが、相当な金額になるということでございます。ということで、こういったものについても、第1部会は非常に関心を持っておられるということ、皆さま方にご紹介しておきたいと思っております。

た各団体へ帰られましても、振り込め詐欺等々については注意するように周知お願いいたしたいと思っております。それではただいまの報告について、ご意見、ご質問等がございませんか。なければ第2部会、お願いいたします。

(大谷一男第2部副部長)

保健福祉・文化・教育等の分野を担当いたします第2部会の会議概要を、私、副部長の大谷からご報告をさせていただきます。去る1月13日に第10回の会議を行いました。スポット参加の4名を含めて12名の委員が出席されました。会議では12月の本会でご決定をいただきました平成29年度の西区自治協議会提案事業である平成29年度の「(仮称)幸齢いきいき講演会」について協議をいたしました。協議の結果事業名につきましては、仮称としておりましたが、仮称を取りまして、「幸齢いきいき講演会」とすることで正式に決定をさせていただきました。この事業は高齢化が進む中で、高齢者がより健康で、しかも高齢者が自分らしくいきいきと生きることのできる、そうした生きがいがいづくりに寄与できるような内容にしたいということで計画しておりますので、それにふさわしい講師として、各委員から事前に候補者を挙げていただきまして、ご提案のありました6名の候補者と、それから協議の中で提案された候補者について選定の協議を進めました。具体的な結論は得られませんでした。開催日程等を踏まえて、さらに事務局のご協力を得ながら引き続き協議することといたしました。

引き続き西区自治協議会の提案事業としてお認めいただいた「スポーツ鬼ごっこ普及啓発」。こちらにつきまして地域別対抗戦と研修会を計画しておりまして、講師予定者のスケジュールからして、11月5日の日曜日を予定して調整することの事務局の報告を了いたしました。日程が確定次第、各コミ協などを通して参加のご案内をいたすことの確認を行ったところであります。次回は2月6日午後3時から、平成28年度の自治協提案事業の事業評価などについて協議することを決定いたしました。以上、報告いたします。

(岩協会長)

ありがとうございました。ただいまの第2部会の報告について、何かご質問、ご意見等がございませんでしょうか。私から一言ですけど、第2部会で前々回でしたかね。スポット参加の坂井委員のほうから地域の茶の間の運営責任者といいますか、その方の意見交換会をやったらどうかという提案があって、それを取り入れてくれたと私は信じておりますけど、西社協のほうで、黒崎市民会館で、茶の間の担当者、責任者ですけれど、その意見交換会をやるというご案内が、茶の間を設営しておる団体の方々にいっておりますので、坂井さんところも茶の間をやっておりますから、届きましたね。

(坂井委員)

はい。1月8日に伺いました。

(岩協会長)

ということで、そういう意見も、皆さん方からいただいた意見は、小関健康福祉課長のほうから社協に言っていたいただいたものと、私、確信しておりますので、建設的な意見は、またよろしくお願いいたしたいと思います。

(坂井委員)

ありがとうございます。

(岩協会長)

なければ第3部会の報告をお願いいたします。

(塩川第3部会長)

第3部会、申し上げます。所管は農林水産業・商工業・交通等でございます。第10回29年1月12日、午後2時半から3時30分まで、出席者は記載のとおりでございます。主な議事といたしまして、「1 2018 西区の特産物・観光地カレンダー事業について」、各月に掲載する写真について、西区の特産物や観光地等を効果的に発信できるようなテーマとなるよう検討いたしました。検討の結果、写真のテーマの候補を以下のとおりといたしました。1月から1・5・7・8・9・10・11・12月。3・4・6月がちょっと今抜けておりますが、写真の募集でございます。その他、中原邸、的場遺跡、緒立遺跡、新川・西川立体交差、文化財センター、西区新鮮あさ市、赤塚太々神楽、青山稻荷神社。次回の部会において、写真の収集方法も含めて、各地区の写真テーマを決定することといたしました。

各委員から出されたその他の意見等は下記のとおりでございます。2016、2017のカレンダーは、特産物や風景の写真が多かったため、2018は文化財等の写真も入れると、よりバランスがよくなるのではないかと、という意見がありました。中原邸は一度も掲載されていないが、中原邸保存会の活動により、環境も整備もされつつあるため、掲載写真の候補としてはよいのではないかと、という意見も出ました。

「2 商店街等活性化研究・実践事業について」。事務局から、1月21日に開催される「うちの発掘ふるじょくと成果発表会」のスケジュールについて説明があり、当日の流れと出席委員の確認をいたしました。

「3 次回(第11回)の開催日程について」。協議の結果、次のとおりでございます。日時平成29年2月10日、午後1時15分より、西区役所の3階303会議室。議題といたしまして、平成28年度自治協議会提案事業の評価について、ほか、でございます。以上でございます。

(岩協会長)

ありがとうございました。ただいまの第3部会の報告について、皆さま方何かご質問、

ご意見等がございませんでしょうか。坂井委員、お願いします。

(坂井委員)

塩川部会長がおっしゃるかと思っていたけど、おっしゃらなかったから、さっき言っていた1月21日に「うちの発掘ふるじょくと」というのがあって、私も参加してみました。自治協の2つの仕事、「うちのDEこすぷれ」と「Café 四ツ角」のほかに6ついろいろな地域発でやっている方があるのです。「うちのをよく知るプロジェクト」、「空き家・空き店舗活用プロジェクト」「うちの文明のふるさとプロジェクト」「うちの歌声の輪合唱团プロジェクト」「うちの仲良しプロジェクト」「うちのクラシックプロジェクト」という多様な方たち、若者もいるし、年配の方もおられるし、一生懸命やっているという方がおられました。例えば「うちのをよく知るプロジェクト」は、グループ名が「うちの宝を活かしたい」というグループなんだそうです。内野の宝ってなんですかって私が聞いたら、自然だとおっしゃって、自然もそうなんだけど、例えば内野というのは元気にやっている店が何軒かあって、売上を伸ばしている所があるし、造り酒屋で塩川酒造と樋木酒造という立派な造り酒屋があるし、そういう意味ではたくさん宝があるんだがなと思って話を聞いておりました。そういう意味で言うと、ポテンシャルは十分あるから、われわれの検討課題も含めて、内野のまちを元気にして、いろいろな立場からみんなですていきたいなと思うこと、そういう思いを強くいたしました。以上です。

(岩脇会長)

ありがとうございます。田村委員、今度いつでしたかね。遠藤実さんの。

(田村委員)

3月26日

駅前オープンセレモニーがあって。

(田村委員)

10時から駅前周辺のオープンの祭典をやります。そのときにセレモニーもやって、その後で遠藤実さんの顕彰碑が続きます。ただし時間的に遠藤さんのほうが11時過ぎになるかなと思って、その辺また役所のほうから調整していただいております。だから3月26日がいよいよ駅前がにぎやかになると思いますけど、その辺市役所のほうと一応お話があって、行くつもりですので、皆さん、来られる方がおりましたら、ぜひ見に来てください。そういうことであります。以上です。

(岩脇会長)

ありがとうございます。塩川部会長。

(塩川第3部会長)

ついでというか、25、26日にジオラマが開催されます。これは12月も一回やったんですが、大好評で、ぜひ25、26日、内野まちセンのホワイエ、広場でやりますので、もし帰りを見ていただければと思います。ぜひお待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。

(岩協会長)

では、眞島区長、よろしくお願いいたします。

(眞島区長)

今、田村委員のほうから、26日の10時からというのを最初おっしゃって、で、今時間調整ということなのですが、10時からだとちょっと時間が足りないので9時半過ぎになるかと思って、今調整しております。またご案内ができるようになったら、皆さんにご案内したいと思いますので、よろしくお願いいたします。当日交通規制も少しやりたいと思っておりますので、その辺りもご協力お願いしたいと思います。以上でございます。

(岩協会長)

ありがとうございました。西区のまちづくりの活性化は、私ども第3部会の大きなテーマでございますので、皆さま方、当日は都合のつく方は参加していただきたいと思っております。ありがとうございました。

それではご意見、ご質問等がございませんでしたら、次のプロジェクトチーム1の報告をお願いいたします。

(大谷一男プロジェクトチーム1部会長)

広報紙の編集を担当していますプロジェクトチーム1の会議概要でございます。去る1月13日に第10回の会議を行いました。出席者は会議概要記載のとおりです。会議では最初に1月1日発行の第20号の振り返りを行いました。今回はクロスワードパズルの回答に合わせて、読者から大変たくさんの反応をいただいております。概要にも記載しましたが、表紙の西区ふれあいカレンダーの写真がとても素敵でよかったと。また「歴史を学ぶ」の津波が新川を遡上したという記事に興味を湧いたといったような意見。あるいは「知ったくなっトク街のタネ」の西川の鉄橋を渡るかぼちゃ電車ですね。この写真、廃線跡の記事に大変懐かしさを感じたというような意見等がたくさん寄せられまして、自治協に対する感謝の言葉と、それから次号への期待が寄せられました。これらの貴重な意見などを参考にしながら、第20号の振り返りを行いました。数多くの励ましの言葉をいただきまして、委員全員がさらに内容の充実に努めることの大切さをお互いに感じ取ったところがあります。引き続き、3月31日発行の第21号の記載内容を検討いたしました。検討の結

果、会議概要に記載しておりますような内容で進めてまいりたいと思っております。

次回の会議は2月8日、午後3時ということで、各紙面の作成状況を確認することにしたしております。以上、簡単ですが、報告いたします。

(岩協会長)

ありがとうございました。中には、カレンダーをなんで税金を使って作るんだと、そういう少数の意見もございますけど、来年度で3回目ということと、もう一つはアンケートの結果非常に好評だということで、来年度も予定しております。それではただいまの報告について、ご意見、ご質問等がございませんでしょうか。なければプロジェクトチーム2は今回は休会となりますので、続きましては自治協委員推薦会議の報告に入ります。大谷座長、お願いいたします。

(大谷勇推薦会議座長)

それでは推薦会議の会議概要について説明いたします。座長の私です。1月17日、303会議室で行いました。出席者は記載のとおりであります。新規選出団体等の決定につきまして、前回会議において決定しました委員の全体構成に基づき、コミュニティ協議会など、各団体に対する就任依頼の状況について、事務局より報告がありました。現委員の継続就任状況に応じて、代替する公共団体または学識経験者について検討を行い、下記のとおり候補を決定し、就任の依頼を行っていくことといたしました。

子ども関係であります。子育て応援サポートセンター「うん♡まんま」、これにつきましては親子の居場所づくりとして、子どもだけでなく大人の育ちにも向き合い、安心できる地域づくりを目指して活動を行っている団体ということでもあります。また防災関係団体につきましては、消防団西方面隊「ひまわり隊」というのがありますが、女性消防団員で構成しております。一人暮らしの高齢者宅への防火訪問や応急手当の普及指導など、きめ細かな活動を行っております。特に防災士としての識見も有する方もいることから参画を依頼する。こういうことになりました。

ただ今後折衝の段階に入っていくわけですが、その中で場合によっては号数の移動等も考えられる場合がありますので、ご承知おき願いたいと思います。現在の1号委員につきましてはコミ協代表、4号委員については公募委員。これについては特に変更はありませんけれども、それ以外の号数の移動については若干あるかもしれませんが、ご承知おき願いたいということでございます。

2番の公募委員の審査につきましては、1月17日、現時点での応募状況について、事務局より報告がありました。17日現在では、2名の応募がありまして、1名の問い合わせがあったというふうに聞いております。現段階の状況についても、今動きはないというような状況であります。2月3日の公募締切後の審査スケジュールについて確認をしたところでもあります。

その他であります。次回の委員推薦会議の開催日程につきましては、2月14日、午後2時からということでございます。以上であります。

(岩協会長)

ただいまの推薦会議座長の報告について、皆さま方ご意見等はございませんでしょうか。

<4 その他>

(岩協会長)

なければ次第の最後、その他でございます。事務局何か報告ございますか。

(事務局：堀企画係長)

すみません。若干させていただきます。それでは次回会議の開催日についてご連絡させていただきます。お手元のA4縦資料、「平成28年度 西区自治協議会 開催予定」をご覧ください。次回第11回自治協議会は2月27日、年度当初予定より変わっておりますので、皆さまご注意ください。月曜日、午後3時から。そして会場もこちらではなく、上の3階となります。よろしく願いいたします。会場変更に伴いまして、皆さまのお席の位置の調整が必要となりますので、通常より早めにご案内させていただきますので、ご出欠のご返信をお願いいたします。会議の議題等詳細につきましては、運営会議でご調整させていただきます。改めて皆さまにお知らせさせていただきます。

続きまして、「第9回西っ子ふゆまつり」のお知らせでございます。2月18日土曜日、午前10時から、西総合スポーツセンターにおいて開催されます。当日会場ではジャンボドームや絵本の読み聞かせ、大抽選会など、たくさんの催しが開催されますので、ぜひお子さまと一緒に会場へお越してください。これ以降につきましては、各種広報紙となりますので、後ほどご覧いただければと思います。以上でございます。

(岩協会長)

ありがとうございました。委員の皆さま方、何かお知らせ、ご連絡等がございませんでしょうか。坂井委員。

(坂井委員)

何度もすみません。私の町内で、地域の茶の間が定着してきたので、今、先ほど勉強会があった地域包括ケアシステムの問題の一つとして、お年寄りが一人でも安心して、認知症になっても住めるまちづくりをしようと、今認知症についての取り組みを行っています。この間講演会をやりまして、66人集まりましたが、2月にもっとやり取りを、お互いどうだという話し合いができるような学習会をやる予定なのですが、中でいろいろ書類を調べていたら、認知症の人と家族の会という組織が日本中にあるのですね。新潟にも毎月、毎

月だったかな、9カ所で集いをやっているのです。私、1月出てきました。そのときは家族の方ばかりだったですけども、ずいぶん本当に切実な話を伺いながら励まし合っている。私みたいなのが入ってくると、本当に喜ばれて、地域でそういう集いができるような町内にしていきたいというお話を、皆さんのお話というのは、実際にそういう人を抱えている家族のお話ですから、頭では知っていたけど、本当に大変だなということを感じるようなお話でした。

ぜひそういうところもありますので、町内でいろいろな取り組みをしながら、地域包括ケアシステムづくりの中で、いろいろな問題、今言った認知症の問題も一つですし、生活支援のさまざまな問題、さっき出ましたけれども一つだと思います。うちの町内ですと、75歳以上が300人いますので、65歳以上を入れると約500人ぐらいになると思います。国の厚労省の本だと、65歳以上の4分の1の方は、軽度認知症、軽い段階でいると。予備軍なんだそうです。軽い段階でいろいろ対策を取ったり、場合によっては投薬をしたり、生活に気を付けたりということは一番大事なんだけれども、みんなが隠したがったりして、よっぽどひどくならないと病院に行かなくて、行ったらもうずいぶん手遅れで、大変なことになっていることが多いそうですので、体の健康診断と併せて頭の健康診断もするということがずいぶん大事だというお話がありましたので、ぜひそういう取り組みも一緒にやっていければと思ひまして、ご紹介いたしました。以上です。

(岩脇会長)

ありがとうございます。ほかに。広瀬委員、お願いします。

(広瀬委員)

地域包括ケアのことなんですけれども、先日うちの町内ということではないんですけども、女性たち、認知症のプロじゃなくて、事前に認知症を予防しようということで、地域包括ケアの方からお2人来ていただいて、手遊びとかを交えた研修みたいなことをしたんですね。20人だったか集まったんですけども、大変好評でした。こうやって認知症にならないためにどうするのか、みたいなことをやっぱり明るい感じでテーマにしながらやるといいなというのがあったので、お知らせです。

あと質問なんですけどいいでしょうか。先ほど内野で空き家とか空き店舗を使って活用してね、というお話があったんですね。とってもいいことだと思うのです。西区の空き家の状況を前にお聞きしたのかもしれないんですけど、お聞きしたい。というのは、この間の第1部会で警察の防犯のところが窃盗だとかいろいろあったところに、結局空き家の所というのがあったと思ったのです。あのときも聞こうと思ったらパッと時間が終わっちゃって聞けなかったんで、空き家の状況、そしてその辺の窃盗というのか、空き家を狙ったような空き巣狙い、そういうことがすごく心配だなと思ったので、空き家の状況をちょっと教えていただきたいと思ひます。

(岩協会長)

副区長お願いします。

(本多副区長)

総務課の課長をしています本多でございます。空き家の状況というのは、確か全国で言うと13.5パーセントぐらいが空き家の率だと思っています。新潟市においては1パーセントぐらい低い12.5パーセント前後だったと記憶しています。おっしゃるとおり、犯罪においても、空き巣の犯罪も犯罪の中では多くなっておりまして、特に特殊詐欺と一緒にございまして、西区が空き巣の犯罪件数が多いという実態もございまして。これについては自転車もそうなのですが、カギをかけないで外出されるというのが主な原因というのですか、そういうところが狙われているということも警察のほうから聞いておりますので、自転車およびご自宅の外出の際にはカギをかけて外出をしていただければと思っています。私からは以上でございます。

(岩協会長)

ありがとうございました。第1部会で今空き家の問題、それとごみ屋敷の問題等々が議題といたしますか、出ております。これも近い将来、新潟市においてもごみ屋敷条例といたしますか、今横浜とかやっておりますけど、そういったものも皆さん方のいろいろな地域の声を聞きながら、対策を講じていくのが、もう間近に来ていると聞いておりますので、第1部会の方々、またご苦勞でもご検討、議論願いたいと思っております。ほかに何か。

(広瀬委員)

追加というか。その空き家が、全国よりも1パーセント少なく、新潟市というか西区も空き家が多いわけですが、そして今現在でいいんですけども、その空き家について新潟市としてはどういうふうにしようとか、ありますかということも含めて聞きたいと思います。

(岩協会長)

それでは私がちょっと一つね。新潟市で空き家の活性化をモデル事業という事業をやっております。今、3年か4年前ごろからやっているのです。私のところの自治会もやって、集会所を作ったと、そういうモデル事業をやっておりますので、そういった制度もありますし、まだほかに真島区長、何かありましたら、お願いします。

(眞島区長)

新潟市全体でも空き家問題は課題になっていまして、地域によっては地域で空き家を確認するというので、今回は内野で地域の方が、その地域の空き家の状況というのを確認したのですが、空き家を管理する問題と、それから有効活用するという問題とありまして、なかなか管理しきれない部分があったり、ご近所にご迷惑をかけているとか、そういう話もお聞きしています。どういうふうにしていくかというのを、新潟市では宅建業者と協定を結んだりとか、今後の対策を具体的にまたちょっとずつ詰めている段階です。また具体的にになってきたら、皆さんにお知らせできるかなと思います。

あと有効利用は、先ほどの茶の間ですとか、そういうところに使うときに、助成制度といたしまして、そんな動きになっておりますので、また具体的な話がもしあれば相談していただければと思います。

(岩協会長)

ありがとうございます。ということでいろいろな補助事業がございますので、それを参考にさせていただきたいと思います。ほかに何か。三富委員お願いします。

(三富委員)

私どもの自治会で実は民生委員の推薦をということで、お辞めになった方から話がありまして、この会で言うことかどうか私迷ったんですけど、実は私どもの町内 360 所帯あるんですが、回覧を回して、訪ねて行ったりして、民生委員になる方をずいぶんお願いに回ったんですけど、民生委員のお話の中で、民生委員の立場がよく分からない。業務がよく分からないからなかなか手がいない。よっぽど勉強しなきゃ駄目だということがありまして、なかなかない。

もう一つは民生委員のテリトリーというのですか。これが町内ごとじゃないんです。ですからよその町内までということになると、なかなか相談に乗れない。今民生委員いらっしゃいますけど、この間健康福祉課にその話をしに行ったら、何かはっきりしないのですね。これは場合によっては厚労省の管轄ということなんでしょうけども、私ども自治会が町内を守っているというか、相談に乗っている立場とすれば、ちょっと何か、何の相談もないし、そうかといって要援護者名簿が回ってきて、それがどうだ、こうだという話が出てきたりして、じゃあ民生委員に頼めと言っても、よく話が分からない。でもやはり町内の困った人は民生委員さんに電話する。民生委員さんは場合によっては地域包括支援センターに行って相談していないか。この間もちょっと問題があったんですけども、包括支援センターとの関係とかですね。やっぱりその辺が町内、班長を含めてよく分からないものですから、区のほうで、またはそれを管理されている、どなたがしているのか分かりませんけれども、何かもう少し自治協も含めて啓蒙されたほうが、われわれもやりやすいと言ったら変なのですが。

ましてや今、空き家の問題もあります。それから一人所帯の問題もあります。その辺を全部やっぱり相談しなきゃいけないのかなと思っているものですから、何か区のほうで相談、何か指導していることがあったら、よろしくお願ひしたいということです。

(岩協会長)

分かりました。今日はちょっと時間ありますので、皆さん方のご意見を聞いて。これは第2部会の所管なのですが、せっきくの機会でございますので、小関健康福祉課長。

(小関健康福祉課長)

健康福祉課の小関でございます。民生委員の関係については、夏頃でしたでしょうか。第2部会に福祉総務課の方から来ていただいて、かなり長い時間説明していただいて、今年度は一斉改選の年でございますので、やはり皆さま方からの関心も高いということで、第2部会のほうで勉強会というようなものをやらせていただきました。今の三富委員のお話が、個別の自治会のことであれば、私どもの課でも相談をしたいと思ひますし、それから民生委員のことをもう少し自治協のほうでも知りたいということであれば、また部会になろうとは思ひますが、そちらのほうでもご説明の会を行いたいと思ひております。

(岩協会長)

ありがとうございます。今の三富委員のご意見。第2部会で今年度やりました。そのときに本庁のほうも次回に向けて改善するところは改善すると言われておりました。たまたま任期の改選の手続き中の関係があったものですから、西区だけという問題ではございません。ということと8区の問題。それと厚労省の所管の関係もあるということで、非常に複雑な問題等々がありますし、民生委員については民生委員連絡協議会でしたね。任命権者。そういう団体がございますので、それとの整合性の問題等々がありまして、次回の改選までに、直すところは直すという担当者からのご意見を聞いて、私も皆さん方に報告をしたつもりでございますので、これからも何かありましたら、各部会のほうでご意見等々を言って、ご説明をしていただきたいと、こう思ひております。

今日はちょっと時間あるんで、高島委員。

(高島委員)

時間があるそうなので、ちょっとお聞きしたいんですが、提案ですが、新潟県も新潟市も、うちもそうなんですが、人口減対策というのですか、そういう大きなテーマが喫緊の課題になっているだろうと思うのですが、一度新潟市の人口減対策、具体的な、何ですかね。取り組みというのですか、そんなものをお聞きできる場所があればと思ひます。大きなテーマなのでなかなか焦点しぼりにくいのでしょうか、若い人が転出していくというのですかね。それはどういう所に問題があつて、どんな対策が必要なのか。せっきくのあ

れなので、こんなところでいろいろお話ができれば、有意義な話が聞けるのかなと思いますので、どこがその部署なのか分かりませんが、総合的なおかつ具体的にお話を聞ければ勉強になりますが、ぜひ一つ取り上げていただきたいと思います。以上です。

(岩協会長)

では眞島区長、お願いします。

(眞島区長)

確かに新潟市全体でも人口減ということで、大きなテーマになっています。新潟暮らし奨励課というところも新しく組織としてつくって、そしてU・I・Jターンの推進ですとか、それから本当に人口が減っている隣の西蒲とか秋葉では、そういうUターンをしてくる人たちを、どう取り込むかというような、そういう事業もやっています。新潟市の、この前の市長の地域ミーティングでも話がチラッと出たと思うのですが、人口問題を区別に、少し人口のビジョンを作っていくような方向性がこれから出てくるようでもありますので、そういう中でまたご説明する機会があるかと思えますし、今取り組んでいる状況をご説明ということであれば、どの場がいいか、部会がいいのか、この場がいいのか、会長とまた相談しながらぜひ進めていきたいと思っています。

(岩協会長)

ありがとうございました。坂井委員、お願いします。

(坂井委員)

実はね、さっきの空き家の問題にも関わるんですが、介護福祉、新潟市の介護保険事業計画が27年から29年でいっぱいになるのですよね。30年から新しくどこに介護施設を設けるかという検討が29年から始まるのです。実はうちの町内に、前の県警の機動隊の宿舎があって、土地が970平米で、約300坪ですね。ここが今立ち退いて、建物が残っているのです。これはぜひ29年からの検討に介護事業所を持ってきてくれと、うちの町内ないので、という願いをしてきましたけれども、そういう検討が始まるので、各地域でそういうことがあれば、大いに自治会や何かで、コミ協なんかで相談すればいいと思います。一応ご紹介だけ。

(岩協会長)

ありがとうございました。それではこれで皆さん意見がないと認めますので、これで平成28年度第10回の西区自治協議会を閉会したいと思います。ありがとうございました。